



陸前高田で学ぶ 教育旅行プログラム

(令和7年7月改訂)

発行：一般社団法人陸前高田市観光物産協会

目次

1. (一社) 陸前高田市観光物産協会	2
2. 東日本大震災津波伝承館	6
3. ワタミオーガニックランド	14
4. 岩手県立野外活動センター	20
5. NPO法人SET	28
6. 陸前高田市立博物館	34
7. 一般社団法人トナリノ	37
8. 高田松原津波復興祈念公園から各施設へのアクセス	44
9. 周辺施設連絡先・避難について	45
10. 団体連絡先一覧	46

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

岩手県 陸前高田市

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、

東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために2021年夏に新しく始まった

高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。



復興への
希望の
象徴

復興への
希望の
象徴

津波の威力を
伝える
遺構

防災教育の重要性を
伝える
遺構

津波の高さを
伝える
遺構



奇跡の一本松



陸前高田
ユースホテル



旧道の駅高田松原
タピック45



気仙中学校



下宿定住促進住宅

公園内には **5つの震災遺構** が残されており、津波災害による貴重な遺構を間近で見学することができます。
パークガイドとともに園内を歩き、震災のこと・復興のいまをお伝えします。

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設 とは

高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、「震災の記憶」と「教訓の後世への伝承」とともに、国内外に向けて復興に対する強い意志を発信するため、国・岩手県・陸前高田市が連携して整備した、復興の象徴となる公園です。

パークガイドでは、専門のガイドが公園の中をご案内します。
コースは4種類の中からお選びいただけます。



● 公園内には「東日本大震災津波伝承館」・「道の駅高田松原」が敷地内にあります。見学・お買い物等にお役立てください。

※ 東日本大震災津波伝承館をご予約の際は、お手数ですが直接お問い合わせください。

※ 2クラス以上等の場合は、パークガイドと併せて「東日本大震災津波伝承館」のご調整を承ることも可能です。ご相談ください。

旧道の駅高田松原 タピック45

— 津波の威力を伝える遺構 —

震災前の道の駅だった建物です。
1階の内部見学が可能で、中に入ると津波の
力によって破壊された大きな壁がを間近で
見学することができます。



気仙中学校

— 防災教育の重要性を伝える遺構 —

陸前高田市内で最も早く津波が到達した
学校です。そんな状況下のなか迅速な
避難行動のおかげで、全員が無事に助かる
ことができました。校舎は3階まで見学する
ことができます。



高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

ご案内ルート

◀ 避難場所
(気仙小学校)

気仙中学校

奇跡の一本松

ユースホステル

道の駅

津波伝承館

タピック45

運動公園

海を望む場

高田松原

広田湾

高田松原海水浴場

下宿定住促進住宅

A コース

防潮堤

奇跡の一本松

旧道の駅タピック45

約 60-90 分

.....

B コース

気仙中学校（遠目からの奇跡の一本松）

約 60 分

C コース

防潮堤

奇跡の一本松

気仙中学校

約 90-120 分

.....

特例コース

防潮堤

旧道の駅タピック45

気仙中学校

約 90-120 分（車移動あり・30名程度まで）

- 『気仙中学校』の見学は一度に「2団体(2クラス)」まで、『旧道の駅タピック45』は「1団体(1クラス)」までです。
- 移動はすべて徒歩移動となります。（ご不安な点ございましたらご相談ください）
- 車椅子の方や配慮が必要な方がいらっしゃる場合は、事前にご連絡ください。
- Cコースは、集合・終了場所が異なりますので、バスのご移動・お迎えをお願いいたします。
- お手洗いをご利用の際は、基本的に『東日本大震災津波伝承館・側』のお手洗いをご利用ください。
- 雨天時の場合も実施となりますので、雨具のご用意をお願いいたします。（状況に応じてバス車内からのご案内となる場合もございます）
- 注意報・警報が発令された場合は、ご案内を中止し安全な場所へ避難をいたします。

お問い合わせ
お申し込み

一般社団法人 陸前高田市観光物産協会
高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局

専用直通番号：090-7528-8182
MAIL：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

お申込みは下記専用ホームページ申込フォームよりお願いいたします。

【高田旅ナビ】 <https://tak@navi.org/shinsai/>

パークガイドの様子



復興祈念公園が整備された経緯や
各遺構・施設の説明を行います

少しずつ再生している高田松原を
望みながら高田松原の歴史、
植樹のことを説明します



奇跡の一本松もすぐ近くでの
見学が可能です（集合写真可）

震災遺構であるタピック45および
気仙中学校は本ガイドでのみ
内部見学が可能となっています
（ヘルメットは貸出しております）



No.

■ 体験メニューの種類

震災ガイド・見学

■ 商品素材名称

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災遺構のご見学が可能です

【概要】

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために、2021年6月より新しく始まった高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。

パークガイドでは公園内を、陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな”地元住民がガイドがご案内いたします。震災遺構である『奇跡の一本松』をはじめ、パークガイドの同伴を条件として内部の見学が許可されている『気仙中学校』や、『旧道の駅タビック45』といった公園内の震災遺構を中心に“震災・復興・これから”を、それぞれの経験を交えながらご案内させていただきます。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影180		
種別	見学	料金	※1
受入人数	最大260名様程度まで	所要時間	60～120分（見学行程による）
営業時期	通年	営業時間	9:00～18:00 ※2
集合場所	東日本大震災津波伝承館前付近	解散場所	現地
駐車場状況	大型バス専用駐車場あり	現地ガイド	パークガイド
予約申込期限	2週間前程度	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：090-7528-8182（専用番号） FAX：0192-54-5013 MAIL：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

＜記載例＞

※1

教育旅行団体（ひとりあたりの料金）

●20名様以上の場合…小学生 550円／中学生～高校生 1,100円

●120名様以上の場合…中学生～高校生 825円

●20名様未満の団体／一式19,800円

●気仙中学校に入場する場合…入場料として500円（気仙中ガイドブック付き）

※2

10月～3月までは17:00まで（気仙中学校入館は16:00まで）

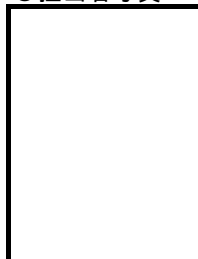
● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	
関係	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局
（一般社団法人陸前高田市観光物産協会）

専用番号：090-7528-8182

固定番号：0192-54-5011

FAX：0192-54-5013

MAIL：

rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp



見学のモデルケース

東日本大震災津波伝承館

(令和4年7月改訂)

目次

- 3 … 見学の基本的な考え方
- 4 … 見学時間の目安
- 5 … 各種ノートの配布(中高生用)
- 6 … 各種ノートの配布(小学生用)
- 7 … 基本的な見学の仕方
- 8 … 時間ごとの見学の仕方
- 9 … モデルケース①(～20人程度まで)
- 10 … モデルケース②(～40人程度まで)
- 11 … モデルケース③(～80人程度まで)
- 12 … モデルケース④(～160人程度まで)

見学の基本的な考え方

見学の方法	説 明
自由見学	当館を自由にご覧いただきます。
解説員による展示解説 (当館推奨)	解説員をお付けして展示の解説をいたします。 ○ 事前の予約が必要(2週間前まで) ○ 見学時間は60分以上を推奨

※ 解説員は、概ね20名程度までに1人を配置します。同じ時間に配置できる解説員は2人が限度のため、通常は40人程度が上限となります。

※ 2クラス以上の見学への対応(モデルケース)については後述します。

3

見学時間の目安

見学時間	内 訳	備 考
30分未満	自由見学	見学時間を確保できない場合など
60分	10分:ガイダンスシアター 40分:解説員による解説 10分:自由見学	基本的なコース

※ 上記見学時間は「伝承館」のみの時間です。
(公園散策や道の駅での買い物などは、別途考慮が必要です。)

※ 事前学習や移動中のバスの中で予習するため、リーフレットや震災津波
伝承ノート(中学・高校)、震災津波学習ノート(小学校用)を学
校あてに前もって送付することも可能ですので、ご相談ください。

4

各種ノートの配布（中高生用）

学ぶ。伝える。

震災津波伝承ノート

◆内容

- ①各ゾーンの見学のポイント ②「考えてみよう」
- ③見学を終えて（振り返り）

◆対象

中学生、高校生

◆作成した意図

- ①東日本大震災津波の事実と教訓を学ぶ。
- ②この震災を自分事と捉え、自分の地域で起こるかもしれない自然災害について考え、備える。



5

各種ノートの配布（小学生用）

震災津波学習ノート

◆内容

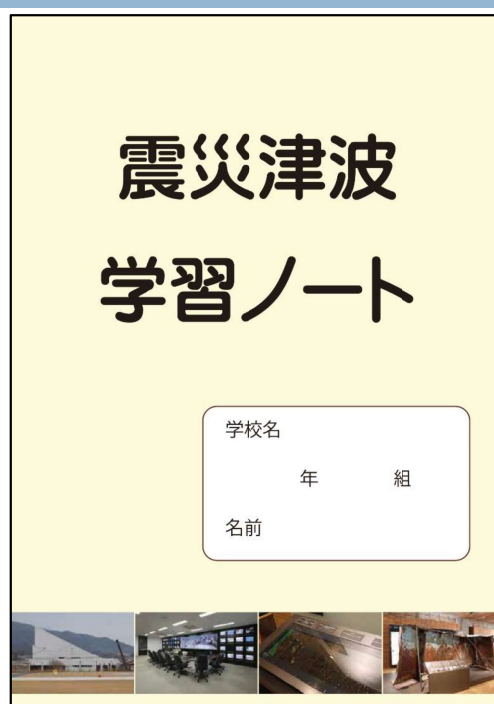
- ①問題形式の学習ノート
＊展示を見て解くもの、自分の考えをまとめる問い
- ②見学を終えて（振り返り）
- ③自分の家からの避難経路を考える

◆対象

小学生

◆作成した意図

- ①伝承館の展示で利用する写真や資料を入れることで見学中や事前事後学習にて内容の理解がより深まる。
- ②問題形式の内容とした。伝承館として伝えたい内容が児童へ定着しやすい。



6

基本的な見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	① 入館	② ガイダンス シアター視聴	③ 解説員による展示解説 ゾーン1～3								④ 自由見学	

① 入館

- 入館前に、避難経路の確認や見学時の注意事項の説明を行います。
- 入館時に、手指消毒及び検温を行います。

② ガイダンスシアター視聴

- 10分間の映像の視聴。

③ 解説員による展示解説

- ゾーン1～3の展示を解説員が説明します。途中に3.11シアターを視聴します。

④ 伝承館内の自由見学

- 解説後、生徒児童のみなさんが興味関心を持った場所や解説中には案内できなかった場所などを自由に見学します。
- 自由時間の有無や時間は調整可能です。

7

時間ごとの見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3								自由見学	

60分時間が確保できない時には、45分、30分のプログラムもあります

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45
45分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3						

自由見学が
なくなります

分	5	10	15	20	25	30
30分	入館	ガイダンスシアター視聴 解説員による展示解説 ゾーン1～3				

・自由見学がなくなります
・ガイダンスシアターのための視聴

8

見学のモデルケース①

～20人程度まで（少人数数学級想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
I 組 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3								自由見学	

9

見学のモデルケース②

～40人程度まで（1クラス想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
I 組 I 班 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → ゾーン2 → ゾーン3 (※)								自由見学	
I 組 2 班 (20人)			解説員による展示解説 ゾーン3 → ゾーン1 → ゾーン2 (※)									

※ ガイダンスシアター視聴後、2つの班に分かれてそれぞれに解説員がつきます。2つの班が重ならないように館内をご案内します。その日の予約状況によっては、1人の解説員で1クラス全員を案内する場合があります。

10

見学のモデルケース③

～80人程度まで（2クラス想定）

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 1班 (20人)	シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3				自由 見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
1組 2班 (20人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2										
2組 1班 (20人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等						シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3		自由 見学		
2組 2班 (20人)								解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2				

※ 一方のクラスが伝承館を見学中は、もう一方のクラスが別メニュー対応となり、60分で入れ替え。滞在時間はトータルで120分となります。

※ 各班に1人解説員が付きます。その日の予約状況によっては、各組1人の解説員の配置になる場合もあります。

11

見学のモデルケース④

～160人程度まで（4クラス想定）

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 (40人)	入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
2組 (40人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2										
3組 (40人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	
4組 (40人)							解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2					

※ 1クラスに解説員を1人ずつ配置し、クラス単位で見学をお願いします。

12

東日本大震災津波伝承館の見学について



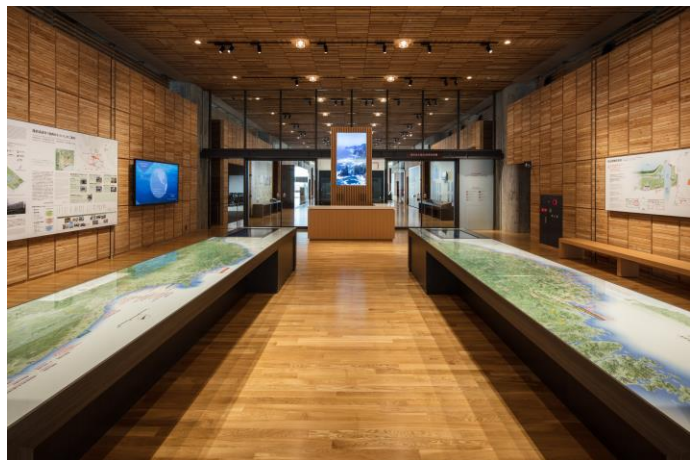
外観

中央の建物の左側が津波伝承館です。
※右側は道の駅高田松原です。



ご案内の様子

事前に団体予約をいただければ、
解説員が館内をご案内いたします。
(自由見学も可能です)



エントランス

津波伝承館入口です。
24時間利用可能なトイレがあります。



館内

津波の被害を受けた被災した車や
橋桁など、当時のものがありのまま
展示されているほか、記録として残
されている映像を視聴できる「ガイ
ダンスシアター」などがあります。

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

見学ガイド

■ 商品素材名称

東日本大震災津波伝承館

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

解説員の説明による
展示内容の深い理解促進

【概要】

復興の象徴として整備された高田松原津波復興祈念公園内に開館した震災伝承施設。震災津波について正しく学び、防災意識を高める「学びの場」として復興教育に取り組んでいます。

- ・解説員による館内展示の説明と、ガイダンスシアター等の映像視聴により、当館の展示内容をより深く理解していただくことができます。
- ・一度に入館できる人数は限られておりますが、他の体験などと合わせて、時間を調節することも可能です。
- ・解説なしで館内を自由見学することも可能です。
- ・解説の有無にかかわらず、ご希望に応じて、事前・事後学習に活用するワークノートを提供します。

【注意事項】

年末年始（12/29～1/3）や、年数回のメンテナンスなどによる臨時休館がございますので、ご利用前に必ずご確認ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影180番地（高田松原津波復興祈念公園内）		
種別	見学	料金	無料
受入人数	要相談	所要時間	30分～60分
営業時期	通年	営業時間	午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）
集合場所	現地（東日本大震災津波伝承館）	解散場所	現地（東日本大震災津波伝承館）
駐車場状況	大型バス対応の駐車場有	現地ガイド	解説員による展示解説
予約申込期限	ご利用日の2週間前まで	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-47-4455		

備考

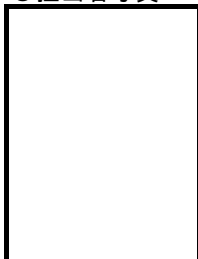
（※）一般団体料金等について記載のこと。

・解説員の有無を問わず料金は無料です。

● 二次交通情報

交通機関		付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【宿泊】岩手県立野外活動センター
			【食事】陸前高田ワタミオーガニックランド

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

東日本大震災津波伝承館
主査 小原 浩二
TEL：0192-47-4455

お食事に関するご案内



ワタミオーガニックランド
最大300名様まで
お食事ができます！

広大な敷地をもつワタミオーガニックランド
修学旅行や社員研修など大人数のお食事も
ご用意できます。
様々なプランをご用意しておりますので
お気軽にご相談ください！

ハンバーガーづくり体験

ワタミオーガニックランドの
名物、野菜たっぷりで大きな
オリジナルバーガーを皆で
つくって食べれます！

農園バーガー（1800円税込）

岩手県産のお肉でつくった
手ごねパティとたっぷり野菜

ササミカツバーガー（1600円税込）

地元の鶏肉・清流若鶏
をサクサクに揚げた
ササミカツバーガー



ワタミオーガニックランド以外でのお食事
にも対応！

旅行会社様で予め組まれている団体ツアー
で、大量のお食事を要する場合にも現地
まで配送可能です。

乗務員向けのお食事もお用意できますので
お問い合わせください。



ワタミオーガニックランドはSDGsを体験しながら
楽しく学べるテーマパークです



散策順路ガイド

散策順路①
おらほハウス

散策順路 ②
休憩棟 & 木づかいハウス

散策順路③
ぶどう園

散策順路④
露地栽培園

散策順路⑤

園内施設ガイド

カフェ

④ 食事・休憩（おらほハウス）

 休憩棟

 トイレ

 **バス停**（グリーンスローモビリティ）

⑤ 駐車場

子供も大人も！園内のアクティビティや食事など体験を通してSDGsが楽しみながら学べます！！

場内案内



BBQ・手作りバーガー体験



植樹体験



種アート体験



陸前高田 watami

オーガニックランド

修学旅行・団体様向けプログラムのお問い合わせ先

TEL 0192-53-2107 (受付時間10:00-17:00)

E-mail info-rt-organic@watami.net

「東日本大震災津波伝承館」から車で5分

〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影309



地元のおいしいを
集めました

岩手県肉お弁当

+150円 (税込) でお茶付けられます!!



地元食材や園内で収穫した野菜を使用しています!!

岩手県産肉の手ごねハンバーグ!! 農園ハンバーグ弁当

1,500円 (税込)

岩手県の牛と豚の挽肉をオーガニックランドのスタッフが丁寧に手ごねして焼き上げたジューシーで大きなハンバーグを盛りつけました。



県内を代表するお肉が一度に楽しめる!!

気仙三昧弁当

1,800円 (税込)

キロサ牧場「岩手めんこい黒牛」のカルビ、住田町有住の山奥、静かな自然の中で育った「ありすポーク」のそぼろ、東日本生産量No.1*鶏「南部どり」を豪華に盛りつけました。

* 出典：農林水産省「令和元年生産農業所得統計」



やわらかジューシー南部どり!! 季節の農園弁当

1,300円 (税込)

地元の酔仙酒蔵の酒粕を使用し、南部鶏のうまみを引き出したワタミオーガニックランド特製のとり味噌漬けを盛りつけました。



陸前高田 watami
オーガニックランド

修学旅行・団体様向けプログラム 各種体験案内



きづかいハウス

地元気仙地域でとれる気仙杉を使用した木造ハウスです。
足元にはウッドチップも敷き、木の香りに包まれる施設となっております。

施設内体験

キーホルダーや種アートは屋内で
植樹は屋外で行う体験です。

屋内体験は上記のきづかいハウス
で行います。

各体験30～45分程度で行えます。
お客様のご都合に合わせて
調整することも可能です。



<鹿皮キーホルダー>

岩手では鹿が多すぎるため駆除対象になっています。
ただ駆除するのではなく、それを有効活用するため
鹿皮のキーホルダーを作る体験を提供しています。
世界に一つだけのオリジナルキーホルダーをぜひ！



<植樹>

当園では様々な循環を大切にしています。
自然界の循環に大きく貢献している木を植えることで
オーガニックランドにも循環をつくろうとしています。
木がどのような役割を果たしているのか学びましょう。



<種アート>

種というのはすべての命の源です。
種が無ければ植物は生まれず、植物が無ければ動物も
育つことができません。
そんな種について学びながらアートを楽しみましょう。

岩手県産の牛肉や豚肉 手ぶらでBBQ



地元食材や園内で収穫した
野菜を使用しています!!

+150円(税込)でお茶付けられます!!

牛肉と豚肉を両方贅沢に!!

●牛肉 ●豚肉 ●ウインナー ●野菜 ●ご飯

まるごと岩手堪能BBQセット

2,800円 (税込)

岩手めんこい黒牛・岩手県産の豚バラ肉だけでなく
ウインナーセットも岩手県産のものを使用!!



手作りバーガーセット

1,800円 (税込)

オーガニックランド特製の大きな
ハンバーガーを作ってみませんか?
新鮮野菜がたっぷり入り、
合挽肉の手ごねパティがジューシー!!
こぼれる美味しさをご堪能あれ!!

※時期により食材が変わります



お手軽BBQセット

1,800円 (税込)

手軽にBBQを楽しみたい方にお勧め!!
岩手県産の豚がしっかり楽しめます!!



めんこい黒牛BBQセット

3,500円 (税込)

岩手めんこい黒牛の肩ロースがたっぷり!!
BBQはやっぱり牛肉!!という方はぜひ!!

Drink Menu

その他軽食やデザートも
ございます

●	プレミアムモルツ	¥350
●	レモンサワー	¥350
●	ハイボール	¥350
●	オールフリー	¥300
●	ソフトドリンク各種	¥300



No.

■ 体験メニューの種類

震災学習・SDGs体験

■ 商品素材名称

陸前高田ワタミオーガニックランド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災学習＋SDGs学習

【概要】

東日本大震災津波伝承館から車で5分程度の場所です。
東日本大震災津波からの復興を【命と循環】、SDGsをテーマに自然の恵みを体験できる施設となっています。
* 伝承館内の芝生でのお弁当配送（ゴミの回収含む）も浮か田まわっております。雨天の際にはオーガニックランド内施設でお食事していただけます。

【注意事項】

体験学習などは予約が必要になります。10日前までにご予約下さい。

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影309		
種別	体験学習・見学・食事	料金	食事：1300円～ 体験：1000円～
受入人数	300人	所要時間	60分～ ご利用内容で異なります。
営業時期	通年（年末年始除く）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	ワタミオーガニックランド	解散場所	ワタミオーガニックランド
駐車場状況	大型6台、自家用30台	現地ガイド	ワタミオーガニックランドスタッフ
予約申込期限	10日前までに	業者コミッション	契約状況による
問合せ先	TEL：0192-53-2610 メール：info-rt-organic@watami.net		

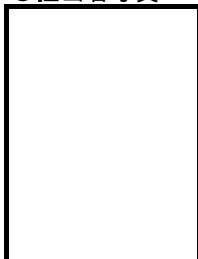
備考 (※) 一般団体料金等について記載のこと。	*1 料金は入場無料。 ・ 食事 お弁当 1300円～ BBQ、ハンバーガー作り体験 1800円～ ・ 体験学習の所要時間は60分～ 場内案内散策ツアーガイド 60分@1500円 植樹体験 60分@1500円 種アート体験 60分@1000円
-----------------------------	---

● 二次交通情報

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

交通機関 利用可能	三陸自動車道「陸前高田長部IC」から約5分	付近情報	
	三陸自動車道「陸前高田IC」から約7分		

● 担当者写真



● 担当者連絡先

ワタミオーガニックランド株式会社
田端 孝芳 / Takayoshi Tabata

〒029-2204
岩手県陸前高田市気仙町字土手影309
電話：0192-53-2107
携帯：080-4273-4702
メール：t_tabata@watami.net

岩手県立野外活動センター

ひろたハマラインパーク
Hirota Hamaline Park



各種野外活動や集団宿泊研修、スポーツ合宿のほか、日帰りでの野外活動・創作活動・体育施設の利用など、さまざまな活動でご利用いただくことができます。



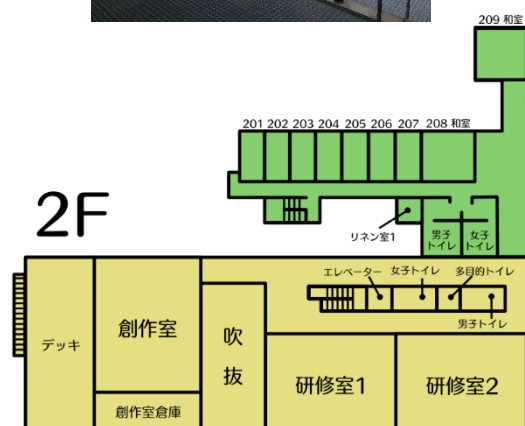
ホームページ二次元コード

詳しくは、ホームページをご覧ください。→



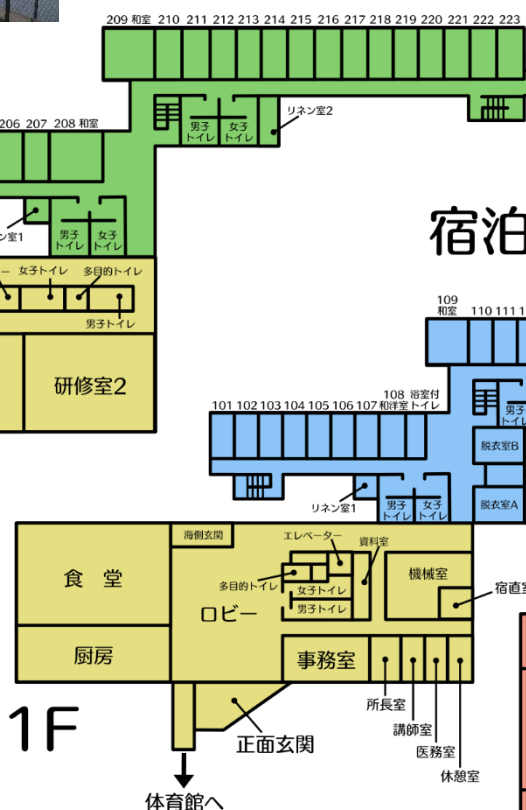


運動広場
400mトラック・直線9コース・トラック8コース サッカーフィールド(105m×68m)ラグビー兼用 軟式野球場2面、走幅跳・走高跳・砲丸投げ
キャンプ場
テントサイト×2 かまど10基を備えたトイレ・シャワー棟×2 ファイヤーサークル×2
テニスコート
砂入り人工芝8面 硬式、軟式に対応 夜間照明付き



管理棟

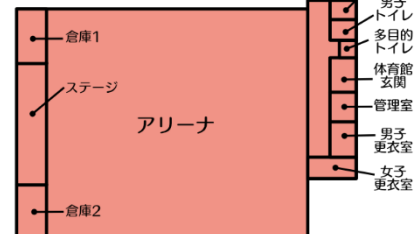
食堂	200席
研修室1・2	約100名
創作室	120名
バス定員	44名



宿泊棟

	定員	室数
宿泊室	4名	42室
和室	8名	3室
和洋室	2名	1室

体育館



〒029-2208 陸前高田市広田町字大久保 124-1
 TEL : 0192-22-9800 FAX : 0192-22-9810
 Mail : hamaline@sposhin.echna.ne.jp

岩手県立野外活動センター 料金表(令和7年7月1日現在)

※ 料金は変更になる場合があります。

＜食事料金＞

区 分	朝 食	昼 食	夕 食
小学生以下	500 円	630 円	800 円
中学生以上	510 円	650 円	820 円

＜シーツ等洗濯代＞

シーツ・枕カバー(1 式)	280 円
シュラフシーツ(1 式)	280 円

※汚損の場合は別途料金がかかります。

※野外炊事等については「野外炊事・弁当等メニュー」をご覧ください。

＜宿泊室使用料★＞

単 位	小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一 般
1 人 1 泊	370 円	550 円	740 円

※「勤労青少年」とは、25歳未満で学生以外の方です。

＜キャンプ場使用料★＞

単 位	小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一 般
テント1 泊1 張(持ち込み含む)	200 円	300 円	390 円

※キャンプ場シャワー室の利用料金は、1 人1 回あたり 110 円です。

※炊事用具利用料金は1 式(1 0 人分) 1 炊事あたり 120 円です。(11 人の場合は2 式となります。)

＜薪代等＞

種 別	小サイズ	中サイズ	大サイズ
キャンプファイヤー用薪	1,600 円	2,500 円	3,200 円
炊 事 用 薪 (1 束)	400 円		
石 灰 (1 袋)	1,100 円		

＜体育施設使用料金★＞→すべて1 時間あたりの料金です。(利用人数は問いません。)

施 設 名	小・中学生		高校生・学生・勤労青少年		一 般	
	半面	全面	半面	全面	半面	全面
運 動 広 場	340 円	670 円	510 円	1,010 円	680 円	1,340 円
体 育 館	390 円	780 円	590 円	1,170 円	780 円	1,550 円
テニスコート(1 面)	350 円		530 円		700 円	

※体育館をアマチュアスポーツ以外で使用する場合や入場料を徴収する場合は別料金になります。

＜付属設備等使用料金★＞→すべて1 時間あたりの料金です。

スポーツ用具	軟式野球、ソフトボール(ベース、杭含む)				270 円	
	陸上競技(ハードル、高跳び用具、バトン)				150 円	
	バスケットボール(ゴール含む)				140 円	
	卓球(卓球台、ネットセット)				70 円	
	ラグビー、サッカー、ハンドボール、フットサル(各ゴール含む)、テニス				40 円	
	バレーボール、バドミントン(各ネット・支柱含む)、グラウンドゴルフ				30 円	
放 送 設 備	備え付け設備(プロジェクター含む)				270 円	
電 気 料	体育館				テニスコート(1 面ごと)	
	7～9 月		10～6 月		7～9 月	10～6 月
	全面	半面	全面	半面		
	80 円	40 円	80 円	40 円	80 円	80 円

＜創作活動料金＞

フォトフレーム	350 円	竹とんぼ(2 個)	150 円
ジェルキャンドル	550 円	ぐにゃ風	300 円
焼き板工作 ※別途薪代必要	300 円	七宝焼き	700 円
火おこし体験(1 セット6 人まで)	300 円	あわびキラキラマグネット	350 円

【施設使用料金の減免】…下記の場合、★料金(キャンプ場シャワー、電気代除く)の減免が可能です。事前にご相談ください。

○教育課程に基づく学習活動として学校が主催する事業 ○身障者手帳、療育手帳、子育て応援パスポートをお持ちの方

○県又は県教委が主催する野外活動及びスポーツの推進事業 等

【料金支払先・時間等】

事務室(支払い対応時間 8:45～17:00)

※現金払いです。お釣りのないようにご準備ください。

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

宿泊

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海に見える研修施設で宿泊体験

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

海洋性野外活動機能、集団宿泊研修機能、スポーツ合宿機能、復興教育研修機能、防災教育研修機能という5つの機能を有しているため様々な体験が出来ます。

宿泊利用でも体験が利用できるほか、野外炊事など研修施設ならではの体験をすることも可能です。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	宿泊	料金	備考に掲載
受入人数	最大194名まで	所要時間	1泊～
営業時期	通年	営業時間	9:00～17:00
駐車場状況	大型5台、普通車88台	解散場所	現地
予約申込期限	電話予約のうえ、1か月前までに申請書の提出（メール、FAX等）	現地ガイド	野外活動センター職員
		業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

- 宿泊室使用料
1泊…小・中学生：370円、高校・その他学生・勤労青少年：550円、一般：740円
※勤労青少年とは、25歳未満で学生以外の方を指します。
- 宿泊室の種類
洋室（定員4名） 団体利用の場合、洋室に加えて和室（定員8名）も1室お使いいただけます。
※団体数や人数によって変更する場合があります。詳しくは問い合わせ先へご相談ください。
- 宿泊可能人数 5名～194名
- 食事料金
小学生以下…朝食：500円、昼食：630円、夕食：800円
中学生以上…朝食：510円、昼食：650円、夕食：820円

● 二次交通情報

交通機関 利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
研修班長 小澤 かおり
TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810
MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

野外活動体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海に見える研修施設で野外活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

野外活動では、施設内で体験可能なキャンプファイヤーや野外炊事などが体験できる他、施設周辺でのウォークラリーなど8種類のプログラムを用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※2
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	30分～240分
営業時期	通年（※1）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

- ※1 活動プログラムによって体験可能な時期や人数が定められています。
 ※2 体験料など詳しくは問合せ先へご連絡ください。

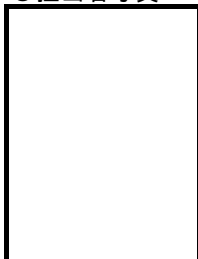
● 二次交通情報

交通機関可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
 研修班長 小澤 かおり
 TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810
 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

水辺活動体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海で水辺活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

水辺活動では、付近の海辺へと移動し、いかだ体験や磯遊びなど海のある地域ならではの体験プログラムを5つ用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	無料
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	180分～270分
営業時期	通年（※）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

※ 活動プログラムによって体験可能な時期や人数が定められています。

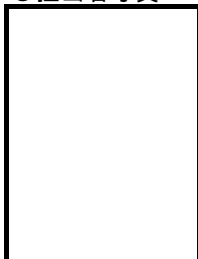
● 二次交通情報

交通機関	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
研修班長 小澤 かおり
TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810
MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

創作(屋内)活動体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海辺にある施設ならではの創作活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

創作(屋内)活動では、あわび貝のかけらをマグネットシートに並べてレジンで固めるあわびキラキラマグネットや、砂や貝殻などを使用して飾り付けるジェルキャンドル作りなど、8種類の活動プログラムを用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス(教育旅行受入の場合)

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	30分～180分
営業時期	通年	営業時間	9:00～17:00
集合場所	現地(岩手県立野外活動センター)	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考

(※) 一般団体料金等について記載のこと。

※ 体験料や可能人数など詳しくは問合せ先へご連絡ください。

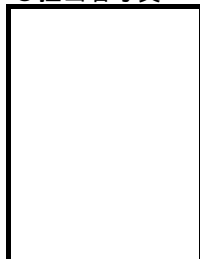
● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	
関	
能	

● 付近の情報(昼食場/その他観光施設等)

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

岩手県立野外活動センター
 研修班長 小澤 かおり
 TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810
 MAIL: hamaline@sposhin.echna.ne.jp

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

防災教育体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

復興・防災教育活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

復興・防災教育活動では、万が一に備えて避難所を模擬運営するゲーム（通称：HUG）や、段ボールベッド・トイレの組み立てや非常持ち出し袋の確認などをする避難所開設体験などのプログラムを6つ用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	無料
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	60分～150分
営業時期	通年	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

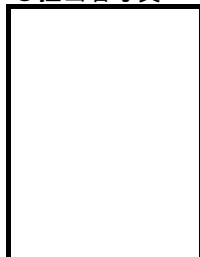
● 二次交通情報

交通機関	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター
研修班長 小澤 かおり
TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810
MAIL：hamaline@sposhin.echna.ne.jp



千年に一度の震災は
千年に一度の学びの場へ

陸前高田 民泊修学旅行

a school trip to Rikuzentakata



震災の記憶を、未来への希望へ…

人生を、 一日一日を、 もっと大切に 生きようと思いました。

* 民泊を経験した生徒さんからの感想

岩手県陸前高田市。
忘れもしない、2011年3月11日。

この日、この町ではたくさんの尊い命、かけがえのない
日常が失われました。

千年に一度といわれる東日本大震災により、
陸前高田市は人命、歴史、文化といった多くのものを失いました。
取り戻せないものもありますが、
陸前高田市では、新しい陸前高田市に向けて、
0からのまづくりが行われています。

そこには、命ある限り、前向きに生きている人たちがいます。

自然と共に生きている人たちや、
絶望を知っているからこそ、当たり前の日常を大切に生きる人たち。
そんな人たちの生き様から、私たちは「生きる力」を感じるでしょう。

陸前高田だからこそ、
出会った受入家庭と生徒だからこそその「学び」が必ずあります。

一人ひとりが主人公の陸前高田民泊を体験してみませんか？

陸前高田民泊の過ごし方 ～各家庭のありのままの暮らし～

民泊ではホテルや旅館、民宿への宿泊とは異なり、一般家庭に数日間泊まらせていただきます。お客さんではなく「家族の一員」として、受入家庭の「ありのまま」の暮らし体験を通して生まれる気づきや学びを大切にしています。

1 はまって会(対面式)



出会い

受入家庭とのドキドキの初対面の場。中には不安な気持ちの生徒さんもあるかもしれませんが、受入家庭の笑顔と歓迎の言葉に、心も表情も少しずつほぐれていきます。ワクワクと安心感が生まれる大切な時間です。民泊のはじまりです！
*生徒による司会進行も良い経験に。



最初はお互いドキドキ

夕食づくり

最初は緊張していても、一緒にご飯をつくり、食卓を囲み、色々なお話をすることで少しずつ笑顔が増えていきます。

手作りのお漬物の味が忘れられない！



朝食

早起きをして、家の目の前の海へお散歩！地平線から昇ってくる朝日に感動！！



2 食事



3 暮らし体験

*体験作業は受入家庭によって異なります。ご了承ください。



各家庭事の暮らし

陸前高田民泊のコンセプトは「オリジナル民泊」！家庭ごとの「ありのままの暮らし」を一緒に過ごすことで、生徒一人ひとりに学びや気づきが生まれていきます。100家庭あれば、100通りの出会いがあります。

初めての畑作業



受入家庭の人が数か月も前から育てた野菜だと知り、食へ物への感謝の気持ちが生まれました。



裏山へ探検へ！



地域散策

市街地へと歩きながら震災当時のお話を聞きます。

船に乗って海へ！



料理

地元の郷土料理づくり。地域の歴史や、それぞれの地元についてお互いに会話をすること、仲が深まる時間です。



畑からとってきた新鮮な野菜が食卓に！自然のありがたみを感じます。取れたての野菜は美味しくて、苦手な野菜も美味しく食べることができました。



手作りの流し素麺！



4 ほんでまんず会(お別れ式)



お別れ

短い滞在時間でも、生徒と受入家庭との間には確かな絆が生まれています。受入家庭も「みんなうちの子だよ、離れていてもずっと応援しているからね。」生徒も「帰りたい、また絶対来るからね。」と涙を流す場面も。さようなら、ではなく、またね。

泊数、食数等はカスタマイズ可能です。別途ご相談ください。

1泊3食コース

1日目	16:00	はまって会
	16:30	各受入家庭先へ移動
	17:30	夕食づくり & 家族団らんの時間
2日目	07:00	朝食
	09:00	暮らし体験
	11:30	昼食
	13:30	ほんでまんず会

☆☆

2日目

2 夕食づくり & 家族団らんの時間

1 はまって会

*はまって方言で「一緒にの輪の中に入って！」

各受入家庭へ移動

16:00

16:30

受入家庭の車に乗って、行ってきまーす！

地元の食材を堪能！

火起こし体験！

シーグラス拾い！

*ほんでまんず方言で「また会おうね」

3 ほんでまんず会

朝食

7:00

9:00

PPP

3

オーディオメイドで深める事前事後学習

事前事後学習は、修学旅行前後に行う学習プログラムです。
学校様のご希望をお伺いし、オーディオメイドの学習内容をご提案致します。
生徒様一人ひとりの修学旅行での学びをより良いものにするために、ぜひ取り入れてみてくださいませんか？



全国の生徒さん、受入家庭からの声

生徒感想

受入家庭
感想

初めて会った時から、受入家庭さんが優しく話しかけてくださって、すごく嬉しかったです。
気づけば不安な気持ちが、楽しくしょうがない気持ちへ変わっていました。



震災のお話を聞いて、中学生が地域のためにとても頑張っていたことが伝わってきました。もし自分が住む町で震災が起ってしまった時は、「私たちが一番に地域のために動かなければならない」と改めて思いました。

一番思い出に残っているのは初めて食事をした夜の事です。家族団楽でご飯を食べることに感動しました。
自分を本当の家族のように出迎えてくれて本当に嬉しかったです。



民泊を通して、価値観を疑うことを学びました。違う価値観や生き方、新しい世界お互いが触れることができて、とても良かったです。
By 民泊受入家庭 60代女性

何より、じいちゃんとたくさん遊んでしゃべることができたのがとても嬉しかったです。「本当の家族が増えたみたい」とじいちゃんが言ってくれた時は、すごく嬉しかったよ。



東日本大震災から10年。大きな被害を受けた陸前高田市は、ハード、ソフトの両面で再起に向けた歩みを着実に進めています。自然災害によって大きく変化した地域を知り、防災の大切さを再認識していただければ幸いです。
海と山の幸に恵まれた三陸で、楽しい時間を共有できることをお待ちしております。
60代男性



陸前高田市に来てわかったことがたくさんありました。その中でも心に残ったのは、震災が起ってから「人のありがたみ」というものを知ったということです。これからは私は、なんとなく毎日を過ごしていくのではなく、お母さん、お父さんに感謝をしていこうと思います。
また、困っている人がいたら助けたりしたいと思います。



陸前高田での一期一会の出会いが、その場にいる一人ひとりの記憶に刻まれています。

民泊はやってみるととても楽しい。
孫がないから、孫のようです。
泊まった子供たちから手紙がくると嬉しく、民泊した子供たちが、その後どう成長していくのかもとても楽しみです。
70代女性



復興に向けての復旧作業に取り組んでいる方々の姿に、とても感動しました。そして、少しでも力になり「支える」ことが出来るようになりたいという気持ちが生まれました。



民泊のご利用に際して

- 受入家庭は、基本的に実施より約2か月前に決定します。
- 体験の内容は受入家庭により異なりますので、事務局にご一任ください。
- ご利用に際し先生方などの事前の下見受入れも随時行っております。詳細はお問い合わせください。
- 体験時間内の緊急連絡体制などについては別途お打ち合わせをお願いします。
- 体験時間以外の個人的な行為により生じた諸問題の責任は負いかねます。

特定非営利活動法人 SET

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田 52-6

MAIL set.forjapan@nposet.com (代表)
takataminpaku@nposet.com (民泊専用)

HP https://set-hirota.com/

民泊 HP https://takataminpaku.npo-set.org

「高田民泊」で検索ください！



SET



民泊



		エリア区分		沿岸エリア	陸前高田市
--	--	-------	--	-------	-------

■ 体験メニューの種類		生活体験学習			
-------------	--	--------	--	--	--

■ 商品素材名称					
陸前高田民泊					
■ 商品素材写真			■ 商品素材紹介		
			陸前高田市のリアルな生活体験・交流事業 【概要】 陸前高田民泊は、一般のご家庭に泊まりながら、町でのリアルな生活を体験したり、町の方と交流することができる事業です。お客さんではなく、“その家の家族の一員”として暮らしや生活を共にすることを大切にしています。2019年には4000名以上の民泊受け入れを成功し、2020年からのコロナウイルスでの休止を経て2022年秋から本格的に受入再開となりました。2024年度、延べ約4000人の受け入れを実施し、コロナ前水準に回復。生徒への事後アンケートでは、満足度は10点中平均9点以上と高い評価をいただいております。 【注意事項】 下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。		
■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）					
所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田52-6				
種別	体験	料金	1泊2食11,000円、1泊3食11,800円、2泊5食22,800円 (いずれも税別) ※2027年度以降は、1泊3食14,800円となります		
受入人数	最大300人程度（前後の予約状況によって受け入れ可能人数が異なるため、お問い合わせください）	所要時間	1泊～2泊（行程による）		
営業時期	年末年始、お盆期間以外	営業時間	平日：9:30～17:00		
集合場所	夢アリーナたかた※規模によって変更がございます	解散場所	夢アリーナたかた※規模によって変更がございます		
駐車場状況	大型バス収容可能（8台以上）	現地ガイド	無し（巡回に事務局は同行いたしません）		
予約申込期限	6ヶ月前	業者コミッション	1泊の場合/1,000円（税込）、2泊の場合/2,000円（税込）		
問合せ先	Mail：takataminpaku@nposet.com				
備考					

● 二次交通情報		● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）	
交 通 機 関 能		付 近 情 報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【見学】東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル)
			【土産】道の駅高田松原

●担当者写真	●担当者連絡先
	特定非営利活動法人SET 陸前高田市民泊担当 吉原直矢 Mail:takataminpaku@nposet.com

利用案内

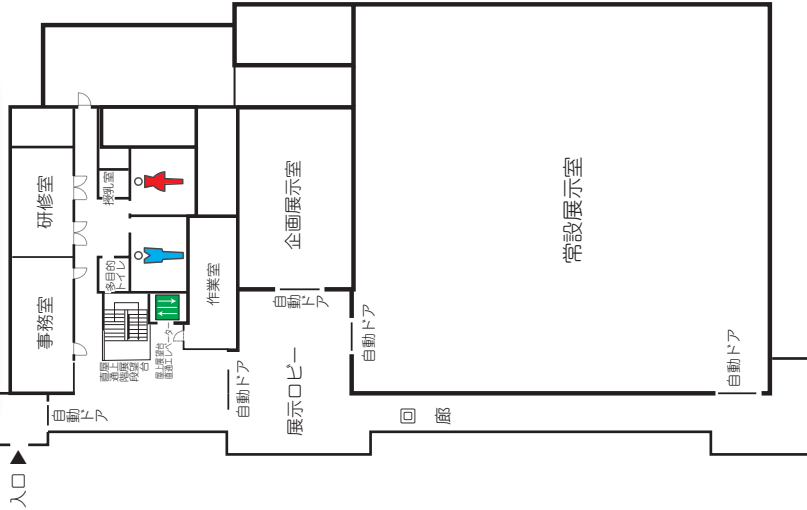
開館時間：午前9時から午後5時まで
(最終入館は午後4時30分まで)
休館日：12月29日から翌年の1月3日まで
：月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

観覧料：無料(特別展示を行う場合は、展示内容に応じ、観覧料を徴収する場合があります)

お願い

- ・展示資料には、手を触れないでください。
- ・展示室内では携帯電話での通話はご遠慮ください。
- ・撮影禁止マークの展示資料の撮影及びフラッシュ撮影は、ご遠慮ください。また、三脚や自撮り棒の使用もできません。
- ・展示室内での飲食はご遠慮ください。
- ・敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- ・その他スタッフの指示に従ってください。

平面図



アクセス

1 公共交通機関

【一ノ関駅より】

- (1) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (2) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で陸前高田駅まで約40分
- (3) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

【花巻空港より】

- (1) JR 花巻空港駅より JR 東北本線一ノ関駅まで約1時間
- (2) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (3) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で JR 陸前高田駅まで約40分
- (4) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

※ なお、花巻空港から自動車をご利用の場合、県道286号等を経由して約1時間30分

2 自動車

- ・三陸沿岸道路陸前高田により約5分
- ・釜石道宮守により国道107号・340号経由で約50分
- ・東北道一関により県道19号、国道343号・340号経由で約1時間20分

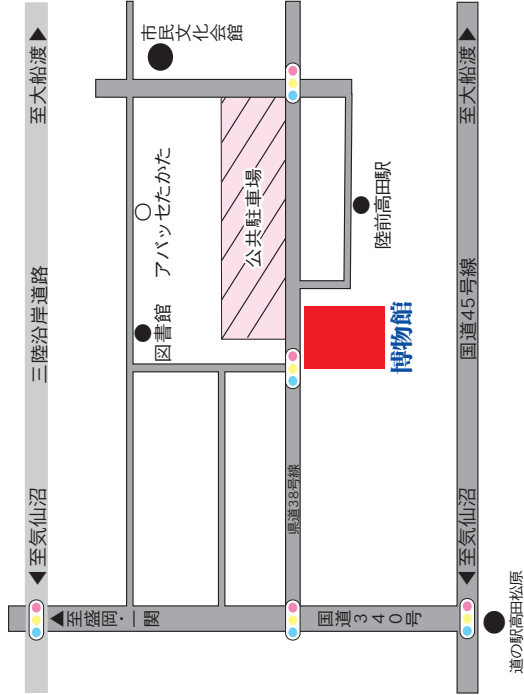
※ 上記交通手段の所要時間などはおおよその目安時間です。

ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認のうえお出かけください。

※ 駐車場はアバッセかた前の公共駐車場をご利用ください。

3 タクシー

- ・(株)気仙タクシー 0192-55-3241
- ・(有)高田交通タクシー 0192-56-2000
- ・高田タクシー(有) 0192-55-3118



陸前高田市立博物館

〒029-2205

住所：岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地1

TEL：(0192) 54-4224

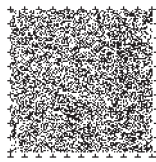
FAX：(0192) 54-4225



ホームページ

陸前高田市立博物館

RIKUZENTAKATA CITY MUSEUM



このマークは目の不自由な方のための「音声コード」です。

9 発見の部屋



陸前高田市の自然や歴史、文化などについて遊びながら学ぶことのできるコーナーです。

8 貝たちの部屋



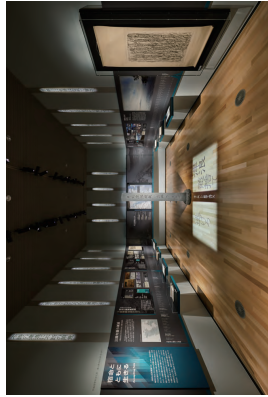
世界各地から集めた約2,000点の貝類標本を展示します。

7 よみがえる博物館



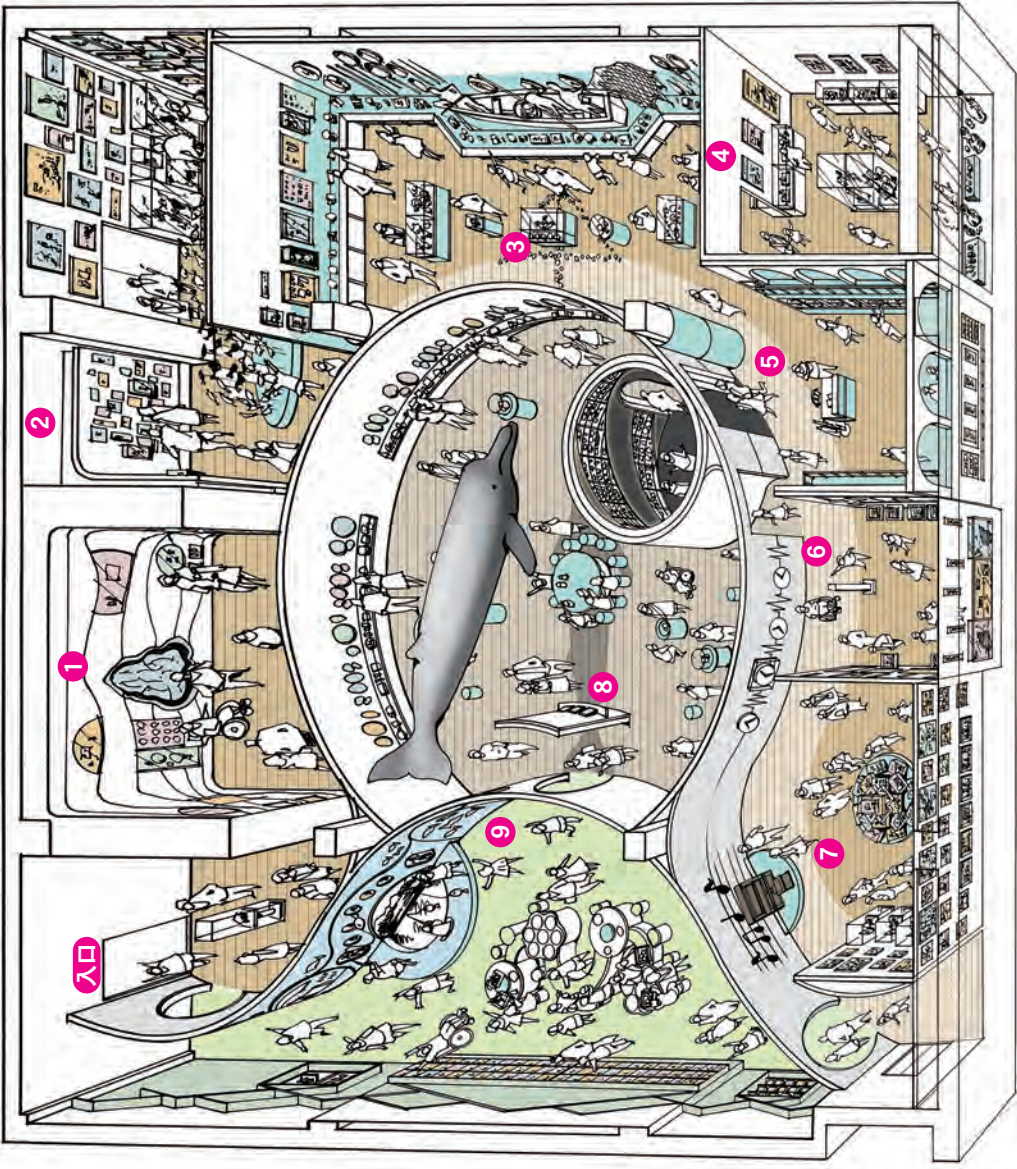
被災した文化財の救出と、全国の博物館などの協力によってよみがえりつつある過程を、安定化処理や修復の技術とともに紹介します。

6 宿命とともに生きる

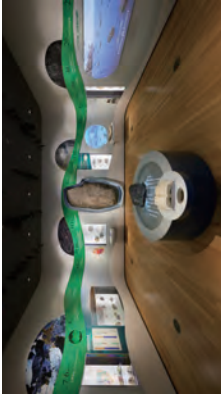


陸前高田を襲った津波の歴史と教訓を紹介します。

陸前高田の豊かな自然・歴史・文化を、震災の記憶とともに未来へ
伝え、地域に根差し、活力あるまちづくりを推進する総合博物館

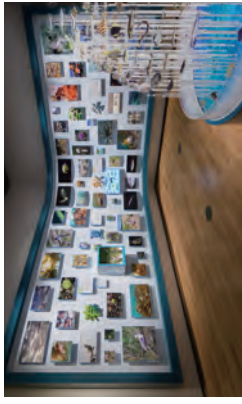


1 大地の成り立ち



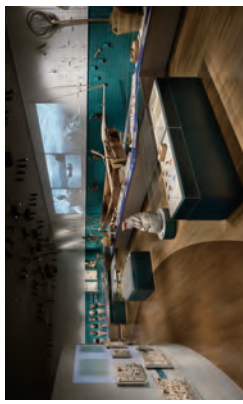
日本列島の成り立ちを知る上で、重要な地域である陸前高田の大地。岩石や化石標本とともにその生い立ちをたどります。

2 奇跡の海 三陸



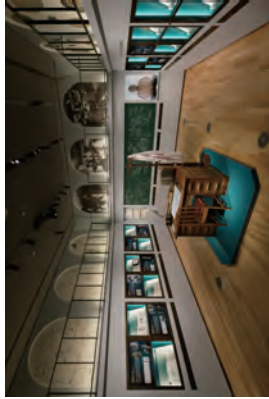
魚の王国と呼ばれる三陸の海、そして豊かな海を支える陸前高田の山から川・海への生物の多様性を四季と環境とともに紹介します。

3 海をあげめ 海にあらがわず 海と生きる



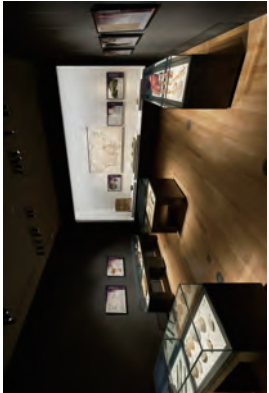
広田湾周辺に広がる貝塚をとおして縄文の海の豊かさを伝えとともに、その中から発達してきた漁撈用具を使用法と合わせて紹介します。

5 博物学の世界



本市の博物学者である鳥羽源藏、その愛弟子・千葉蘭児の業績や貴重なコレクションを紹介します。

4 資料が語る陸前高田の歴史



陸前高田の歴史や民俗を物語るうえで欠かすことのできない様々な資料を展示します。

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

見学ガイド

■ 商品素材名称

陸前高田市立博物館

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

学芸員による展示ガイド

【概要】

博物館学芸員による常設展示等の解説。陸前高田の自然、歴史、文化について震災の記憶と共に学べる内容となっている。

【注意事項】

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字並杉300-1		
種別	見学	料金	無料
受入人数	20名（それ以上は要相談）	所要時間	60分～120分
営業時期	通年（月曜休館※祝日の場合は翌日）	営業時間	午前9時～午後5時
集合場所	現地（陸前高田市立博物館）	解散場所	現地（陸前高田市立博物館）
駐車場状況	お近くの公共駐車場をご利用ください	現地ガイド	学芸員によるガイド(1名～2名)
予約申込期限	ご利用日の5日前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-54-4224		

備考

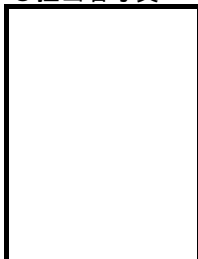
（※）一般団体料金等について記載のこと。

受け入れ人数について、20名以上の場合でも受け入れは可能ですが、見学方法について調整する必要があるため、あらかじめご相談ください。

● 二次交通情報

交 利 通 機 関 能		付 近 情 報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【見学】東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMI（つなみ）メモリアル）
			【食事】陸前高田ワタミオーガニックランド

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

陸前高田市立博物館
学芸員 浅川崇典
TEL：0192-54-4224

陸前高田 防災減災 フィールド

グローバルキャンパス・たまご村エリア

学びを深めるセットプランも
ご用意しています

A プラン

震災前、震災時、復旧復興期の備えをコンパクトに知りたい方に

< 内容 > ①『『失われた街』 模型復元プロジェクト 見学

② 避難所と在宅避難 展示見学

③ 3.11 仮設住宅体験館 見学

※上記を防災士が解説します

< 料金 > 20,000 円 / 式

< 所要時間 > 1 時間 -

B プラン

被災当時から復興までの話をじっくり聞きたい方に

< 内容 > ① たまご村 視察

② 3.11 仮設住宅体験館 語り部

③ 3.11 仮設住宅体験館 宿泊研修
たまご村「わいわい」の食事つき

< 料金 > 6,500 円 + 食事代 / 人 (20 名の場合)

< 所要時間 > 3 時間 ~ ※人数によって1人当たりの料金が異なります

C プラン

体験してイメージ力を高めたい方に

< 内容 > ① 避難所に行かない避難 (昼食・休憩込み)

② 3.11 仮設住宅体験館 見学

< 料金 > 6,000 円 / 人

< 所要時間 > 4 時間

D プラン

生き延びるための備えを学びたい方に

< 内容 > ① いのちのイメトレ

② 避難所に行かない避難 炊き出し (夕食込み)

< 料金 > 基本料金 5,000 円 + 4,500 円 / 人

< 所要時間 > 3.5 時間

※人数によって1人当たりの料金が異なります。

※予約は背面に記載されている公式サイトよりお願いします。

※既存プログラムをアレンジしたいご要望がある場合は、企画調整費として別途料金が発生します。
お見積書にて料金をご提示いたします。

陸前高田グローバルキャンパス

2 階

【『失われた街』 模型復元プロジェクト 展示】

地元の方々の思い出の場所に「記憶の旗」がたてられた東日本大震災前の陸前高田市 (高田町・気仙町) の復元模型を展示しています。

3 階

【避難所と在宅避難 展示】

東日本大震災時の避難所の状況と、避難生活への備蓄品や在宅避難への工夫などをまとめたパネルを展示しています。

【安田菜津紀写真展】

フォト・ジャーナリストの安田菜津紀氏が東日本大震災直後から撮り続けてきた陸前高田の街と人々の営みの写真の一部を、彼女自身の言葉と共に展示しています。

3.11 仮設住宅体験館

震災当時に使用した応急仮設住宅の一部を活用し、震災の教訓を伝え、防災・減災を学ぶ「体験宿泊施設」を整備しています。展示室のパネルに記載された元住民の言葉と共に、暑さや寒さ、狭さを感じることで、よりリアルに追体験することができま。防災食も販売中！

たまご村

2012 年 6 月にオープンしたプレハブの「仮設商店街」が、2020 年 7 月に「村」として再スタートしました。中心市街地に移転・再建できない人や、市内外の NPO などの異業種連携を図っています。

(陸前高田グローバルキャンパスから車で約 10 分：高田町大隅 93-1)

至 たまご村

有料プログラム

既存プログラムをアレンジしたいご要望がある場合は、企画調整費として別途料金が発生します。御見積書にて料金をご提示いたします。

ワークショップ

発災時、自分に何が起るかを想像する

いのちのイメトレ

陸前高田グローバルキャンパス 2 階



震災前の復元模型を使って津波の威力を知ると同時に、地域の人から「なぜこの町に生き残るのか」を聞きます。

その後、災害時の状況を自分自身の問題としてイメージするトレーニングツール「目黒巻」を使って、自分の防災力を見つめ直し身の回りの防災対策につなげる対話型ワークショップを行います。

※防災を専門とする東京大学防災学研究所が考案した災害シミュレーションツール

こんな人にオススメ！

- ✓ 震災前から続いている魅力を知りたい
- ✓ 高田町・気仙町の浸水区域へ復興エリアの全体像を見たい
- ✓ 話を聞くだけでなく、自分自身の防災対策をリアルに考えてみたい

定員	6-60 名
時間	2 時間 -
料金	基本料金 5,000 円 +1,500 円 / 人

※2 週間前までのお申し込みをお願いいたします。

体験プログラム

発災直後、生き延びるための知恵を身につける
避難所に行かない避難

陸前高田グローバルキャンパス 3 階



プログラム① 避難所と在宅避難それぞれの備え

避難所 1 人あたりのスペース (2 m² 想定) に寝転ぶ体験や、災害時のトイレ復旧までに行き、災害時のトイレの使い方などを知り、避難所と自宅 (在宅避難) どちらで生活を送ることにも生き延びられる備えは何か、考えていきます。

プログラム② 地域のお母さんたちとの炊き出し

震災時に炊き出しをしていたお母さんたちと一緒に、羽釜でお米を炊きます。可燃物の調達、焚き火台の組立て、火力の調整などを体験し、防災食と一緒に食事をとりまします。

こんな人にオススメ！

- ✓ 避難所と在宅避難それぞれのメリットを知りたい
- ✓ 体験を通じて備えるものを考えたい

※2 週間前までのお申し込みをお願いいたします。

体験学習・宿泊

復旧・復興期の暮らしを追体験する

3.11 仮設住宅体験

3.11 仮設住宅体験館



実際に仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、当時の問題を再現した施設です。

① 見学 仮設住宅での生活を経験された方達の話を元に、スタッフが展示室をご案内します。

② 語り部 地元住民が、仮設仮設住宅での暮らしについてお話しします。

③ 宿泊研修 家族構成別に再現した 7 部屋の内、ご希望の部屋タイプで宿泊研修いただけます。

防災食を販売しています / 調理器具を貸し出します (貸料はご用意ください) / 語り部とセットでのお申込みを推奨しています

- ✓ こんな人にオススメ！
- ✓ 本館の家に移るまでの期間をどう乗り越えたか知りたい
- ✓ 宿泊時間にも学びを得たい

< 語り部 >

定員	1-30 名
時間	1 時間 -
料金	1-9 名...8,000 円 / 回 10-19 名...10,000 円 / 回 20-35 名...15,000 円 / 回

※7 日前までのお申し込みをお願いいたします。

< 宿泊研修 >

定員	1-25 名
料金	1DK(1-2 名定員) 10,000 円 / 室 2DK(1-4 名定員) 13,000 円 / 室 3K (1-6 名定員) 16,000 円 / 室 + 寝具代 1,000 円 / 人

※7 日前までのお申し込みをお願いいたします。
※1 食あたりの金額は、上記料金を利用人数で割った金額です。



3.11 仮設住宅体験館
公式 Instagram

研修プログラム

地元食材を食べながら経験談を聞く
たまご村視察

仮設商店街 たまご村



「事故復興」による商店街活性化をテーマにした研修プログラムです。村長が運営する「カフェードパーわいわい」の食事を食べながら講話を聞くことができます。東日本大震災で建設された仮設商店街のうち、個人で払い下げ(譲渡)を受けて営業継続している事例は全国でこれだけ！

次の大災害での被害を最小限に抑えるために、失敗談までお話しします。
お見聞が先出した事柄のことも想定し、被害を最小限にするための事前準備を学ぶことができます

こんな人にオススメ！

- ✓ 復興・まちづくりを頑張っている人の話を聞きたい
- ✓ 商店街復活に必要な視点を学びたい

定員	4-35 名
時間	1.5 時間
料金	基本料金 20,000 円 食事 1,100 円 / 人

※1 ヶ月前までのお申し込みをお願いいたします。

明日からできる防災

陸前高田発、追体験で高める 災害イメージ力

“私たちと同じ思いを繰り返さないでほしい”

この願いを叶えるためには何をすればいいのか、東日本大震災の経験者と一緒に考えました。

「大変だったんですね」で終わるのではなく、「帰ったら○○をやってみる！」と次のステップに進む具体的な内容を宣言する追体験型プログラムをご用意しています。

防災士 / 陸前高田市防災マイスター *

久保 玲奈

* 陸前高田市防災マイスターとは

陸前高田市が育成している、地域における防災リーダーとして活躍できる人材です。将来の大規模災害の発生に備え、防災の専門家や市職員等による講座を受講することで、防災に関する知識や技術を習得しています。



07

／ 陸前高田のことを
より深く知るならこの1冊！ ／

「たかたる。総集編」



陸前高田の歴史や文化など、地元の魅力を高田の人みずから語る「たかたる」。2015年から2020年度までに発行した6冊に掲載されている総勢40人のインタビュー記事を一冊にまとめた総集編です。

- 陸前高田市内販売店
- ・ 伊東文具店（アパッセたかた内）
- ・ 発祥パーク CAMOCY



←EC サイトでも販売中！
<https://ec-tonarino.stores.jp>

予約・お問い合わせ



防災減災フィールド公式サイト

<https://www.bosai-f.com/>

一般社団法人トナリノ 防災伝承チーム

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字大隅 93-1 たまご村内
メール/tonarino.bosai@tonarino.org
電話/090-6568-6412



一般社団法人
トナリノ

東日本震災において仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、7部屋を家族構成別に再現しています。ご希望の部屋タイプにご宿泊いただけます。

防災食を販売しています！

防災食とは、災害などの非常事態により食料の確保が困難になることを想定して準備しておく食品です。

仮設住宅の暮らしで防災食を食べただけではありませんが、宿泊研修時の食事や自宅での備蓄用などとして、この機会には非お試しいたください。



キッチンが狭い、暑さ寒さを体験できません。
食材はご自身でご用意ください。

1泊では分からない“暮らし”のイメージが深まるため、セットでのお申込みを推奨しています。

生活する上で苦労されたことや工夫、ご近所さんとのエピソードなどを、部屋のいたるところに掲示しています。

鉄製の柱と梁は外気の影
響を受けて、夏は熱く冬
は冷たくなります。冬は
ストーブを使うことで天
井や壁、床なども結露
し、カビが多く発生しま
した。

冬はとてども底冷えします。当時は応急的な仮設建築物として木杭の上に建設されたため地面と床が近く、布団や寝巻を複数枚重ねても夜中に目が覚めたそうです。

当館の壁には断熱材が入っていますが、壁の近くで話したり壁に衝撃を与えたりすると、隣の部屋まで聞こえます。



ご準備いただきたいもの

- ・タオル・歯ブラシ・髭剃りなど

ご利用いただける家電

- ・冷蔵庫・IHクッキングヒーター
- ・電子レンジ・ドライヤーなど

※その他、ご利用いただける設備や消耗品についてはホームページをご確認ください。

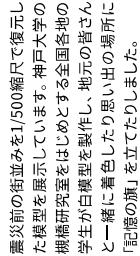
右記料金の他に、1名あたり
寝具料金1,000円がかかります。
※1名あたりの金額は、右記料金を
利用人数で割った金額です。

右記料金の他に、1名あたり
寝具料金1,000円がかかります。
※1名あたりの金額は、右記料金を
利用人数で割った金額です。



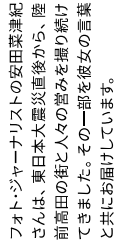
3.11仮設住宅体験館と同じ敷地にある「陸前高田グローバルキャンプス」にて以下を展示しています。

見学無料

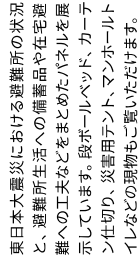


④ **テーマ：自分の命を守るための
知恵を身につける**

「この街で、これからも」

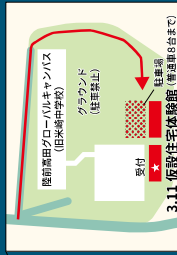


並無存見



④ **テーマ：自分の命を守るための
知恵を身につける**

手取町米崎字神田113-10



最寄りのバス停から徒歩20分
前後かかるため、レンタカーや
タクシー、レンタサイクルなどを
推奨しています。



3.11 仮設住宅体験館事務局（一般社団法人トナリノ）

☎ 080-2830-8412 (受付時間 9:00~17:00)

 info@311kasetu.com

202406-03

防災減災フィールドの様子



避難所1人あたりのスペース
(2㎡想定)に寝転ぶ体験

震災時に炊き出しをしていた
方と羽釜で炊事を行なう体験



応急仮設住宅の生活を経験され
た方から当時の話を聞く体験

高田松原津波復興祈念公園(※)と各施設の位置関係について

※復興祈念公園の駐車場は「東日本大震災津波伝承館」及び「道の駅高田松原」と共用になります。



(2021年7月撮影)

復興祈念公園から各体験施設へのアクセス

- ・ワタミオーガニックランド：陸前高田市気仙町字土手影309
⇒ 車で3分（1km）
- ・陸前高田市立博物館：陸前高田市高田町字並杉300-1
⇒ 車で5分（1.5km）
- ・中心市街地（かさ上げ地）：陸前高田市高田町字館の沖付近
⇒ 車で5分（1.5km）
- ・岩手県立野外活動センター：陸前高田市広田町字大久保124-1
⇒ 車で20分（12km）
- ・3.11仮設住宅体験館：陸前高田市米崎町字神田113-10
⇒ 車で7分（3.6km）

周辺施設連絡先・避難マップ

市外局番(0192)

	名 称	住 所	電話番号
役 所	陸前高田市役所	陸前高田市高田市高田町下和野100	54-2111
消 防	陸前高田市消防本部	陸前高田市高田町栃ヶ沢210-2	54-2119
警 察	大船渡警察署 高田幹部交番	陸前高田市高田町栃ヶ沢205	55-2022
	大船渡警察署	大船渡市盛町下館下14-2	26-0110
観 光	陸前高田市観光物産協会	陸前高田市高田町字並杉300-2	54-5011
病 院	岩手県立高田病院	陸前高田市高田町太田56	54-3221
	岩手県立大船渡病院 救命救急センターあり(24時間対応)	大船渡市大船渡町山馬越10-1	26-1111

市の避難マニュアル・避難マップ一覧は下記URLよりご確認ください。

(QRコードからも確認ができます)

① 陸前高田市『避難マニュアル』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3903.html

② 陸前高田市『指定緊急避難場所・指定避難所等の一覧』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3932.html



QRの先では、下記の情報を見ることができます。

陸前高田市津波防災マップ

土砂災害・洪水ハザードマップ

指定緊急避難場所 ⇒ 「いったん逃げる場所」

災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全確保を目的として、命を守るために緊急的に避難する場所のことを指します。

指定避難所一覧 ⇒ 「避難生活ができる場所」

災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、また災害により自宅が被災し戻れなくなった場合、一時的に滞在することを目的とした施設のことを指します。

団体連絡先一覧

各プログラムに関する詳細や資料請求については
下記連絡先へお願いいたします。

- ・ **一般社団法人陸前高田市観光物産協会**（担当：小林）

電話：0192-54-5011

Mail：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

- ・ **東日本大震災津波伝承館**（担当：小原）

電話：0192-47-4455

Mail：AJ0007@pref.iwate.jp

- ・ **陸前高田ワタミオーガニックランド**（担当：田端）

電話：0192-53-2610

Mail：info-rt-organic@watami.net

- ・ **岩手県立野外活動センター**（担当：小澤）

電話：0192-22-9800

Mail：hamaline@sposhin.echna.ne.jp

- ・ **特定非営利活動法人SET**（担当：吉原）

電話：0192-47-5747

Mail：takataminpaku@nposet.com

- ・ **陸前高田市立博物館**（担当：浅川）

電話：0192-54-4224

- ・ **一般社団法人トナリノ**（担当：吉田）

電話：090-6568-6412

Mail：tonarino.bosai@tonarino.org

陸前高田で学ぶ旅－教育旅行プログラム－（令和 7 年 7 月改訂）

製作・発行	一般社団法人陸前高田市観光物産協会
住 所	〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字並杉300-2 まちの縁側
電 話	0192-54-5011
メー ル	rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp



観光物産協会ホームページ
「高田旅ナビ」